



問と式 18

直線 $(3+2k)x + (4-k)y + 5 - 3k = 0$ がある。

この直線は、 k の値によらず、定点 $(\frac{\square}{\square}, \frac{\square}{\square})$ を通る。また、点 $(1, -1)$ とこの直

線との距離が最大となるのは $k = \frac{\square}{\square}$ のときで、その距離は $\frac{\square}{\square} \sqrt{\square}$ である。

[獨協医科大]

1 $3x + 2kx + 4y - ky + 5 - 3k = 0$

k について整理すると

$$k(2x - y - 3) + 3x + 4y + 5 = 0$$

k は任意とすると $2x - y - 3 = 0$, $3x + 4y + 5 = 0$ と同時に

満たす点のみ定点となる。つまり

$$\begin{cases} 2x - y = 3 \\ 3x + 4y = -5 \end{cases} \text{ を解くと } x = \frac{7}{11} \quad y = -\frac{19}{11} \quad \text{定点 } (\frac{7}{11}, -\frac{19}{11})$$

点 $(1, -1)$ からの距離を d とすると

$$d = \frac{|3+2k - 4+k + 5 - 3k|}{\sqrt{(3+2k)^2 + (4-k)^2}} = \frac{4}{\sqrt{5k^2 + 4k + 25}}$$

つまり $5k^2 + 4k + 25$ の最小値に対する k を求めると

$$5k^2 + 4k + 25 = 5(k + \frac{2}{5})^2 + \frac{121}{5}$$

$$k = -\frac{2}{5} \text{ のとき } d = \frac{4}{\sqrt{\frac{121}{5}}} = \frac{4\sqrt{5}}{11}$$

